

9月8日(火)

京都大学森林科学科学生がパイロットフォレストで実習

9月8日(火)、京都大学農学部森林科学科3回生等19名がパイロットフォレスト(以下「PF」と表記)を訪れました。同大学では毎年森林科学科3回生を対象に、同大標茶・白糠研究林を中心にして、北方地域の独特な森林・林業・環境の理解を目的とした実習を行っています。

この日は天候にも恵まれ、午後の2時間弱を利用してPFのカラマツ林を見学してもらいました。最初に研修棟でPFの造成の歴史や現況について説明。続いて、造成当時活躍した大型機械を見学。学生たちは当時使用したチェーンソーを実際に手に取って、その重さに驚いていました。望楼では、見渡す限りのカラマツ林に感嘆の声が上がっていました。学生からは、殺鼠剤散布の環境への影響などについて質問がありました。また、PFを管轄する森林官(大学卒業後2年目の若手森林官)も同行したことから、森林官としての仕事のやりがいや日々の森林官の仕事についても質問がありました。



P F 造成当時活躍した大型機械を見学



望楼近くのカラマツ - トドマツ二段林を見学



P F 造成当時活躍した大型機械を見学

(所長 中島)